

危険物新聞

第 4 9 3 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集
発行人 松 村 光 惟

大阪市西区新町1丁目5-7

四つ橋ビル

TEL (531) 9 7 1 7・5 9 1 0

定価 1部 60円



平成 7 年の 新春を迎えて

(財)大阪府危険物安全協会

理事長 鴻野 真太郎

平成 7 年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、日本初の女性宇宙飛行士、向井千秋さんがスペースシャトル「コロンビア」で15日間、地球を236周し女性の一飛行最長記録の偉業をなすとげ、また、日本人では二人目であるノーベル文学賞を大江健三郎さんが受賞の快挙に輝き、世界的ニュースとなり私共に夢と希望を与えてくれました。

大阪では、待望の関西新空港が開港し、アジアのハブ空港を目指してスタートいたしました。大阪湾に浮かぶ人口の島、本格的な24時間操業空港に、これから数限りない旅立ちと出会いが生まれ、世界各国の人々のオアシスとなるものと期待されます。

一方、日本経済は依然として厳しい状況にあります。若干明るさも見えてきたようであり、政界では大きく揺れ動いたものの何とか安定し、冷夏による米騒動も納まり大阪では特筆すべき災害もなく、平穏のうちに新春を迎えることが出来ましたことは、まことに慶賀にたえないところであります。

さて、近年の社会環境は複雑多様化の一途をたどり、とくに危険物関係業界にありましては、新製品の研究開発が進むと共に、石油製品をはじめとする危険物の大量貯蔵、大量輸送の時代となり、一つ誤りますと生活環境をも破壊する大事故の発生が予測され、我々関係者としてしましては、その社会的な責任の大きさを痛感しているところでございます。

危険物災害は、昨年6月、千葉県製の油所の爆発、10月には長野県上田市の油槽所における流出炎上事故で、多くの犠牲者を出す痛ましい惨事が発生しております。

特に上田市の事故を見ますと、ソフト面である危険物施設の作業マニュアルの完備、保安教育・訓練、安全の最優先がいかに重要であるかを物語っていると思われまます。

公益法人であります本協会は、危険物取扱者の育成並びに保安教育を中心に、自主保安管理の徹底に取り組み、時代に即応した効率ある諸事業の推進を図り、関係各位のご期待に添えるよう最善を期する所存でございます。

昨年の事業につきましては、「第4回大阪府危険物安全大会」を大阪府と共催のもと自治省消防庁桑原危険物規制課長殿をお迎えし、府下各消防長を初め消防関係者350名のご出席を得て盛大に開催することが出来、更に本協会年次大会も各関係機関から多数のご参加のもと意義ある大会となりました。

保安講習にありましては、昨年度は特に保安講習受講促進について力を注ぎ、その一環として、府下30協会の協力を得て受講促進の喚起文を約12,000の危険物関係事業所宛に送付いただいた結果、大きな成果が得られ、保安教育の一役を荷うことになりました。

予備講習につきましては、若干減少の傾向となり、今後の検討課題となりましたが、その他研修会、論文募集等、各事業は滞りなく着実に実施することが出来ました。このことはひとえに大阪府をはじめ各消防本部、そして各関係機関の深いご理解とご協力の賜ものと心より感謝を申し上げます。

我が大阪では、待望の関西新空港が開港し、また、大阪湾ベイエリア開発、関西文化学術研究都市の整備等が着実に推進されております。

21世紀を目前に迫り、ますます大都市化が進展する社会におきまして誰もが安心して暮らせる人間性豊かな災害のない街づくりが、総てに優先するものであろうかと存じます。

1995年、新しい年を迎えるにあたり、役員はもとより職員一同、今後更に、府下各消防機関と各協会が一体となって課せられた使命達成に全力を挙げて参りたいと、心新たにしているところであります。

どうか、ご当局各位には、倍旧のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆々様のご健勝とご多幸、併せまして更なるご活躍、ご繁栄を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。



新年の ごあいさつ

大阪府知事

中川 和雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、念願であった関西国際空港が開港するどころか、記念すべき年でありました。大阪の地に世界の主要都市と直結する我が国初の本格的24時間空港が誕生したことで、いよいよ大阪が“世界の大阪”へと大きく飛躍していく時期を迎えました。

新空港は当面1本の滑走路で開港しましたが、3本の滑走路からなる全体構想を早期に実現し、この空港を我が国を代表する国際ハブ空港に育て上げていくことは、多極分散型の国土構造を構築するうえでまた世界都市大阪の実現にとって、極めて重要な課題といえます。このため、平成8年度から始まる国の第7次空港整備5箇年計画に全体構想が明確に位置づけられ、同計画期間中(平成8年度～12年度)に早期着工が図られるよう地元が一丸となった取り組みを進めているところであります。特に、本年夏頃には7次空整に関する航空審議会の中間とりまとめが予想されますので、昨年8月の全体構想推進に向けての地元の基本的考え方をもとにオール関西の代表者で構成する全体構想推進協議会を中心に事業手法や地元協力の具体的方策のとりまとめを急ぐなど、その早期実現に全力を挙げてまいり所存です。

今、私たちは、関西国際空港の開港を契機に世界都市大阪、そして新しい時代の関西を強く内外にアピールしていく絶好の機会を与えられました。この秋には、我が国で初めて、東京以外で各国の首脳が一堂に会する国際会議として、第7回アジア太平洋経済協力(APEC)閣僚会議が大阪で開催され、あわせて非公式首脳会議も予定されています。地元・大阪としましても、APEC閣僚会議等地元協力準備事務局を設置し、自治体や経済界などが一体となった協力体制を整えましたが、ホスト・シティとして、もてなしの心で、世界の人々に大阪の魅力や活力をアピールしていきたいと考えています。

また、大阪府では、国家の壁を越えた相互理解の促進と地域社会の相互発展に貢献していくため、これまでも広く世界の5地域と交流事業を進めてきたところですが、昨年11月、新たにアメリカのカリフォルニア州と友好提携を

締結しました。カリフォルニア州にとっては、外国の都市との友好提携は初めてのことであり、ここに至るまでの間、双方で10数年に亘る準備の歳月を要しました。カリフォルニア州は、世界の国と比べて9番目の経済規模を誇り、大阪も同様の経済規模を有しています。このように大きな経済力を有する2つの地域が、経済や文化をはじめ芸術、科学など様々な分野で活発な交流活動を展開することにより、友好提携がお互いの地域の発展にとどまらず、アジア・太平洋地域全体の発展に大きく貢献することになると確信しております。

人々の生活や都市の発展にとって“平和”が何よりも大切なことは、申すまでもありませんが、残念ながら世界各地では、今なお民族紛争などが絶えない状況にあります。21世紀を目前にして、今後とも人類が確実に進歩を遂げ、繁栄を誇っていくためには、今一度、平和の大切さをかみしめることが重要であります。このため、大阪府では、大阪市と共同で平和のシンボリック施設として、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝える「ピースおおさか」を運営するなど、様々な施策を実施しているところであります。とりわけ今年、戦後50年という節目の年にあたりますので、戦争の惨禍を忘れることなく、改めて平和の尊さを実感し、真に平和を希求する願いを込めて、様々な記念事業を展開していきたいと考えています。

さらに、これからの新しい社会の発展のためには、女性の役割は極めて重要であります。私は知事就任以来、女性も男性もともにいきいきと働き、暮らすことのできる男女協働社会の創造に向けて、様々な施策を実施してきたところであります。昨年はその中核施設となる「ドーンセンター」をオープンさせることができました。女性の社会活動、国際交流などあらゆる分野への男女の参加・参画を促進する拠点として、文字どおり新しい夜明け(「ドーン」:D A W N)となるような活発な活動を展開していきたいと考えています。

平成9年に大阪で開催が予定されている「なみはや国体」については、現在、大阪モノレールの延伸や門真スポーツセンターなどの各種競技施設が着々と整備されつつあります。国体終了後もこれらの施設が、生涯スポーツ、地域スポーツの振興拠点として大きな役割を果たすものと念願しています。同時に、この国体のスローガンでもあります「おおさかふれ愛 夢づくり」を合言葉に、府民の皆さんに新しい大阪づくりを呼びかけているところでありますが、今後とも府政に対する皆様方より一層のご理解、ご支援をお願い申し上げる次第であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとって明るい良い年となることを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



年頭の ごあいさつ

大阪府下消防長会

会長 岡本 吉晃

輝かしい平成 7 年の新春を迎え、会員の皆様に謹んで新年のお喜びを申し上げます。

平素は、消防行政の各般にわたり深いご理解と格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、皆様方におかれましては、国内外の厳しい社会経済環境にもかかわらず、安全操業のうちに事業の発展を遂げられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の災害を顧みますと、4 月には名古屋空港において中華航空機の墜落事故、10 月には北海道東方沖地震、また、今なお活動を続けている雲仙普賢岳の噴火災害など大規模な災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらし、尊い人命と貴重な財産が失われました。

一方、危険物施設におきまして、6 月には千葉県製の油所において、インナーフロートタンクの改修中爆発を起し、1 名が死亡、1 名が負傷、8 月には四日市市の合成ゴム工場において、原料供給用ブタジエンボンベが爆発し、附近住宅約 50 戸の窓ガラスが破損、10 月には上田市の油槽所において、屋外貯蔵タンクに接続された配管変更工事終了後、3 基の屋外貯蔵タンクが炎上し、3 名が死亡、1 名が負傷するなど、相変わらず危険物施設の災害は後を絶たず、工事中の火気管理や保安体制など防災対策を推進していく上で、多くの課題と教訓が提起されました。

これ以外にも、各地で危険物に係る火災や爆発あるいは危険物の流出事故が発生し、その被害は事業所内にとどまらず周辺住宅にも影響を及ぼすなど、あらためて大量の危険物を取り扱う事業所においては、自主保安体制を確立して人命優先・安全第一を経営の基本方針としなければならないことを認識させられました。

幸い大阪府下におきまして昨年は、大きな災害もなく比較的平穏に推移しております。これは、皆様方の防災に対する認識の深さと平素のご努力の賜ものと深く感謝いたします。

このような状況下におきまして危険物行政の動向は、政府の規制緩和の方針をうけて、効率的な事業活動の展開を図るためタンクローリーの容量制限の緩和、地球環境保全の立場から、自動車用エネルギー源としてメタノール、電

気充電施設を給油取扱所に併設する基準の整備並びに安全性向上のため旧基準の特定屋外タンク貯蔵所について、新基準の適用、更には、新たな危険物の貯蔵形態である FRP 製二重殻タンクや国際間で流通している中間容量のコンテナ (IBC) の利用等が検討されており、危険物施設の形態や危険物輸送方法等ますます複雑、多様化する傾向にあり、自己責任を原則として事業所の保安を推進していくうえで、防災担当者の果たす役割は、ますます重要になってきています。

一方、大阪では、ベイエリアを中心として新たな時代に向けた各種基盤整備が着々と推進されている中で、その象徴ともいべき日本初の 24 時間空港である関西国際空港が、昨年 9 月 4 日に開港し、新しい玄関口として人・物・情報が、国境や時差を越えて活発に流れる社会へと移行しています。

私どもも、21 世紀を目前にひかえ、安全で豊かな地域社会を旨として前進するため、決意を新たにするとともに、府下消防長会においても、今後とも消防行政の各般にわたり、総合的に検討を行い各種の施策を積極的に推進していく所存でございますので、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方の事業のますますの発展と会員各位のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年を迎え

謹んでご挨拶を

申し上げます

平成 7 年 1 月

(財)大阪府危険物安全協会

理事長 鴻野 眞太郎

役員、職員一同



新春を迎えて

(財)全国危険物安全協会

理事長 福島 深

平成7年の輝かしき新春を迎え、謹んで年頭のお慶びを申し上げます。

大阪府危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、平素から危険物保安管理の最先端において、その使命を深く認識され、危険物を取り扱う人々の育成と危険物に係わる安全管理にご尽力をいただいていることに対して深く敬意を表する次第であります。

さて、昨年を振り返ってみますと、何かと話題の多い年であり、こと、危険物に関しまして、タンクローリーの容量制限の緩和やメタノール給油取扱所の設置に関する基準の整備が図られるなど、世界的視野で流動しはじめた年と言っても過言ではないでしょう。

大阪府下においては9月に日本ではじめてのハブ空港として「関西国際空港」が新たにオープンしたことは、危険物関係でも特筆に値することでしょう。

近年の危険物や関連施設等における技術進歩には眼を見張るものがあり、危険物を掛け合わせて新しい危険物を誕生させる時代になり、危険物施設等も日に日に進歩しているなかで、関西国際空港においても航空機燃料の供給を中心として、最新の技術が導入され、施設面での安全性も一層高いものと推察されます。

しかしながら、このような技術の進歩とは相反した危険物災害が起きていることも事実であり、2月に神奈川県で

起きた危険物製造所の爆発火災や10月に長野県で起きた油槽所の屋外タンク火災など、人的ミスに起因した事故であることを考え合わせると、改めて申し上げるまでもありませんが、安全性は保安設備の向上もさながら保安管理や意識の向上が必要不可欠であると痛感する次第であります。

幸いに、大阪府内では大きな危険物災害の発生も無く推移してきており、非常に喜ばしいことでありますが、このことは、大阪府をはじめとする関係行政機関と連絡協調を図り、危険物取扱者保安講習や危険物安全週間中の各種行事等を通して、危険物取扱いに携わる者に課せられた使命でもある「危険物災害を未然に防ぐ」ことの重要性を訴え続けてきた大阪府危険物安全協会と各地区協会の努力の賜物と拝察する次第であります。

危険物の進化と技術の進歩につれて、今後さらに複雑多岐となる管理・取扱いが適切に実行できるためには、行政機関、事業所に加え大阪府危険物安全協会の三者の連携が求められるところであります。

新春を迎えて、今年も「災害のない安全な都市づくり」に向けて邁進されますようお願い申し上げます。

当協会といたしましては、消防庁をはじめ関係諸機関のご指導、ご協力を得ながら、会員の皆様方のご理解ご協力をいただきまして、更なる事業の充実を目指して役職員一同なお一層の結束を固めて、危険物の安全確保のために最善の努力をする所存であります。

むすびにあたり、本年が災害のない平穏の年であるよう、併せまして大阪府危険物安全協会会員皆様の益々のご発展とご健勝を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

迎

春

大阪市危険物安全協会
豊能町防火協会
箕面市防火協会
池田市消防協会
豊中防火安全協会
島本町火災予防協会
高槻市火災予防協会
茨木市災害予防協会
吹田市危険物安全協会
摂津市防火安全協会

枚方市・寝屋川市
防火協会連絡協議会
交野市火災予防協会
四条畷市防火協会
守口・門真防火協会
大東市火災予防協会
東大阪市防火協会連絡協議会
八尾火災予防協会
柏・羽・藤火災予防協会
松原市火災予防協会
富田林市防火協会

河内長野市防火協会
美原町防火協会
大阪狭山市防火協会
堺市・高石市防災協会連合会
泉大津市火災予防協会
忠岡町防火協力会
岸和田市火災予防協会
貝塚市火災予防協会
泉佐野市火災予防協会
泉南市火災予防協会

第15回 大阪府下論文募集 (締切 平成7年4月7日まで)
安全管理事故対策・体験等について

第15回表記懸賞論文を下記のとおり募集しますのでご応募下さい。

応募資格 府下事業所に勤務する者

募集部門と内容 第1部(製造、取扱い部門) 化学工場等の危険物製造、取扱い部門における防災管理、企業内協同研究、事故体験記録等について

第2部(貯蔵、流通、販売部門) 油槽所、営業危険物倉庫の大量貯蔵部門、タンクローリー等輸送部門、又はガソリンスタンド等の販売部門における安全管理、事故防止対策、事故体験記録等について

第3部(その他) 一般事業所等における危険物の安全管理、事故体験記録等について

※各部とも400字詰原稿用紙(横書き)10~15枚程度

送り先 〒550 大阪市西区新町1-5-7 四つ橋ビル8F
(財)大阪府危険物安全協会 論文係宛

切 平成7年4月7日(必着)

発表 平成7年5月中旬

表彰 ☆優秀賞 1編(賞状と副賞10万円)

各部門の優良作品の中より選出し、6月に行なわれる大阪府危険物安全大会で表彰します。なお、該当者は部門優良賞の副賞と重複はしません。

☆優良賞 各部門ごと1編(賞状と副賞3万円)

☆佳作 各部門ごと若干(賞状と副賞2万円)

なお、優秀賞、優良賞に該当作品が無い場合は、各部門の優良賞、佳作入選を増やすことがあります。(その他応募者には記念品を贈呈いたします。)

その他 入賞作品の著作権は本会に帰属し、作品は返却しません。

MORITA
森田ポンプ株式会社
本社 〒544 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 TEL.06(758)9723

MORITAが誇る
先進の技術を駆使した
ツインジェット推進ポンプ搭載の
小型消防救助艇

The advertisement features a black and white photograph of a small boat on water. Two people wearing hard hats are visible on the boat. The boat is equipped with a large pump system. The background shows a building and some trees. The text is overlaid on the image, providing contact information and a description of the boat's technology.

第 4 回危険物取扱者試験

2月12日(日)、府大で

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成 6 年度第 4 回危険物取扱者試験を 2 月 12 日(日)、大阪府立大学で次のとおり実施する。

第 4 回危険物取扱者試験

試験日	2月12日(日) ・乙種 4 類 (午前・午後) ・甲種、4 類以外の乙種、丙種 (午後)
試験会場	大阪府立大学 (堺市)
願書受付日	1月19日(木)、20日(金)
願書受付場所	大阪府職員会館

なお、大阪府の次回試験予定は、平成 7 年 6 月である。

予備講習会は府下 8 会場で

予備講習会は、甲種、乙種 4 類、丙種について、大阪、堺、枚方、吹田など府下 8 会場で別掲 (8 頁参照) のとおり行なわれる。

なお、次回 (平成 7 年度第 1 回試験、6 月上～中旬) は、5 月上旬～6 月上旬に予備講習会を開催の予定。

保安講習

6 年度は 2 月期で終了

平成 6 年度の保安講習は、右表のとおり、第 65 回、2 月 20 日の会場をもって終了します。次回、平成 7 年度は 6 月下旬より開催の予定。

< 2 月 期 日 程 表 >

回数	開催日時(予定)	会 場	所在地 又は 最寄駅
◇化学工場関係 (1 会場)			
※62	2 月 9 日(木)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
◇その他・一般 (8 会場)			
59	2 月 13 日(月)午後	弘容ビル・東大阪	近鉄・大阪線・布施駅
60	2 月 6 日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅
61	2 月 8 日(水)午後	大阪府商工会館	〃
63	2 月 14 日(火)午後	茨木商工会議所	J R・阪急・茨木駅
*64	2 月 16 日(木)午後	堺 市 民 会 館	南海高野線・堺東駅
65	2 月 20 日(月)午後	大阪府商工会館	地下鉄・御堂筋線・本町駅

- 注 1. 講義時間は 3 時間です。(開講時間は講習会場によって若干異なる。)
- 注 2. 回数欄中 * 印の会場は駐車可。(ただし、堺市民会館は有料。)
- 注 3. 回数欄中 ※ 印の会場はすでに満席状態です。(12 月 26 日現在)
- 注 4. 会場によっては、予約申込みが殺到し、満席に近いところもあるので、できるだけ早く、日程の予約をされたい。
- 注 5. 日程予約申込み書 (所定の往復ハガキ) は、府下各消防署で入手されたい。

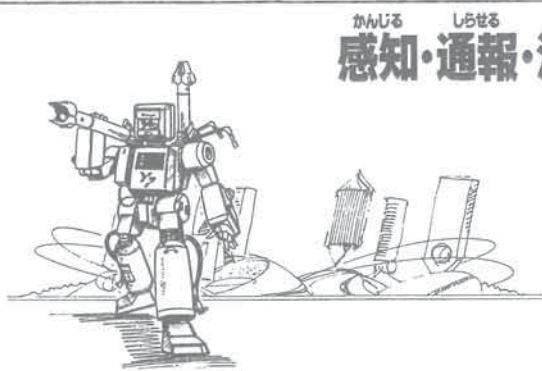
平成 6 年度 危険物安全運動推進標語

一瞬のすきも許さぬ 危険物



防火設備はさまざまな防災機器やシステムにともなう安全の構築です。総合防災メーカ・サトウロイヤルは、感度を知らずにはなす安全確保のシステムとして、コンピュータのシステムにより、目的に即した防災機器の研究開発をおこなって完成させています。

防火にも安全運動推進標語の「一瞬のすきも許さぬ」をテーマに、



感知・通報・消火

ヤマトプロテック株式会社

本社 〒537 大阪市東成区深江2-1-10 TEL.(06)976-0701代 東京本社 〒108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)3446-7151代

札幌支店 仙台支店 仙台支店 仙台支店 仙台支店 仙台支店 仙台支店 仙台支店

移動タンク貯蔵所

立入検査実施

2月中旬から3月中旬 全国一斉に

自治省消防庁では、2月中旬から3月中旬にかけて移動タンク貯蔵所等の全国一斉立入検査を実施する予定。

検査対象は、移動タンク貯蔵所、危険物運搬車両で、重点項目として次の項目が掲げられている。

- ①常置場所、危険物の積み下し場所等、道路以外の場所における立入検査
- ②平成5年5月23日から施行された水圧試験に係る定期点検の実施の有無
- ③法定に定める定期点検（3年間保存分）の実施の有無
- ④法定の消火設備、標識の備付けの有無
- ⑤法定の容器、表示、積載方法によっているかどうか

⑥その他

立入検査で発見された無許可または基準不適合の移動タンク貯蔵所及び運搬車両については、法令遵守の徹底指導を行なう。

また、危険物取扱者については、免状の返納命令に関する運用基準に基づき、適切な違反点数の措置を行なう、とされている。

＜危険物関係 参考図書＞

◇移動タンク貯蔵所の位置、構造及び設備の技術上の基準に関する指針	850円
◇図解危険物施設基準の早わかり① (危険物規制の概要、製造所、一般取扱所)	2,500円
◇図解危険物施設基準の早わかり② (屋内・屋外貯蔵所、屋内・屋外タンク、地下タンク、簡易タンク、移動タンク貯蔵所)	3,200円
◇図解危険物施設基準の早わかり④ (消火設備、警報設備及び避難設備)	2,400円
◇危険物関係法令・質疑応答集	800円
◇危険物・指定可燃物 (大阪市消防局監修)	1,000円
◇危険物性状ハンドブック	1,800円

大阪市危険物安全協会 ☎06-531-5910

空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計
遠隔式警報ユニット液面計
各種液体タンク用液面計
フロートスイッチ・微圧スイッチ
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9467(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル ☎358-9467~8

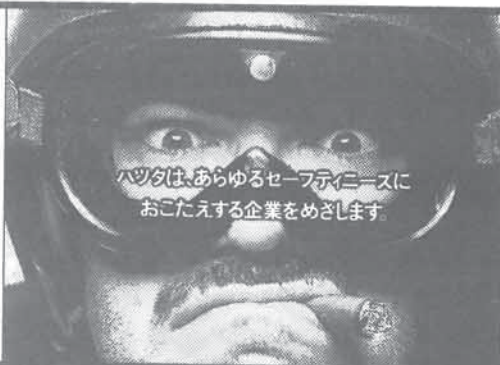


HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573 大阪府枚方市初田3-5 TEL. (0720)56-1201(FX)
東京本社 〒110 東京都港区芝大門7-88-7 TEL. (03)3434-4841

原点はロスプレバンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズに
おこたえする企業をめざします。

頑固な夢が
そこにある。

危険物取扱者予備講習のご案内

平成6年度第4回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験予備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	1月25日(水)、1月31日(火)、2月3日(金)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅ヨリスグ)
乙種 4類	1期	1月23日(月)、2月2日(木)	大阪府商工会館
	2期	1月20日(金)、1月25日(水)	大阪府商工会館
	3期	1月25日(水)、1月26日(木)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4期	1月19日(木)、1月20日(金)	北河内(枚方)府民センター (京阪枚方市駅ヨリ約5分)
	5期	2月2日(木)、2月3日(金)	吹田メイシアター (阪急千里線吹田駅ヨリ約2分)
	日曜	1月22日(日)、1月29日(日)	9時30分～17時
丙種	2月1日(水)	9時～16時	大阪府商工会館

2. 受付場所と受付日時

- ①四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ②各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付できませんからご了承下さい。
- ③申込手続きは代理でも結構です。

受付場所		日時
東大阪市西消防署内 (近鉄・小坂駅より北へ6分)	東大阪市西防火協力会	1月10日(火) 午前10時～11時30分
守口消防署 (地下鉄・守口駅前)	守口消防署	1月10日(火) 午後1時30分～4時
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅南へ5分)	枚方市寝屋川市防火協会	1月11日(水) 午前10時～11時30分
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会	1月11日(水) 午後1時30分～4時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅より南へ5分)	豊中防火安全協会	1月12日(木) 午前10時～11時30分
吹田市消防本部内	吹田市危険物安全協会	1月12日(木) 午後1時30分～4時
岸和田市消防本部内	岸和田市火災予防協会	1月13日(金) 午前10時～11時30分
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会	1月13日(金) 午後1時30分～4時
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会	1月17日(火) 午前10時～午後4時 1月18日(水)

(注) 12:00～13:00までは昼食で受付事務を一時休みます。

3. 会費

(会費には、各テキスト代を含みます。)テキスト不要の場合は甲種、乙種2,000円減額。(テキストは平成6年度用改訂版を使用)

種別	会費	会員外
甲種	15,000円	18,000円
乙種4類	11,000円	13,000円
乙種(日曜コース)	14,000円	16,000円
丙種	5,000円	6,000円